

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

|                 |                                                                                                                                                                                           |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別  | ヒヤリハット                                                                                                                                                                                    |
| 2. 体験した事例の名称    | 火災現場での消火活動中における床抜け事案。                                                                                                                                                                     |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 木造2階建て一般住宅火災。2階から出火し、床抜けの危険性がある活動であった。私は隊長の命により1階階段付近でホースを送る活動をしていた。2階では隊長と隊員4名が活動している。しかし、2階階段下り口付近ではホースがキンクしていた。私は独断でキンクを直そうと2階へ向かった。そしてホース整理をしていた際に、2階階段下り口付近約1m手前の床を抜かし左足が落ちかけたことである。 |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・独断での判断。</li> <li>・無線機を携帯しておらず、2階での活動隊員の情報共有・意思疎通ができていなかった。</li> <li>・私自身の足場の確認を怠ったこと。</li> </ul>                                                  |

【体験した事例の直接的な原因について】

|                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 行動の意志決定に問題があった。 |
|------------------|-----------------|

【体験した事例について】

|                                  |                                              |
|----------------------------------|----------------------------------------------|
| 1. 発生日時                          | 平成27年1月13日 午後8時頃                             |
| 2. 発生した当時の天候                     | 曇り                                           |
| 3. 発生した活動現場                      | 屋内：一般住宅                                      |
| 4. 体験した事例の種類                     | 回答者が、自分自身で負傷しそうになった。<br>回答者が、他人を負傷させそうになった。  |
| 5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）  | 重傷の怪我をしていた（させていた）だろう<br>軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう |
| 6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）     | 墜落・転落、崩壊・倒壊（に巻き込まれる）、切り・こすれ、踏み抜き             |
| 7. 事例体験時の活動                      | 火災現場活動中期、〔木造建物〕                              |
| 8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか         | 人命検索、放水活動、その他：ホースライン整理                       |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | 初めて体験した                                      |

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

|                   |                                                                  |
|-------------------|------------------------------------------------------------------|
| ○当事者A             | 年齢[24]歳、勤続年数[2]年、現場経験年数[1] 年、階級[消防士]<br>同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 [隊員] |
| ○当事者B             | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ] 年、階級[ ]<br>同様の活動 [ ], 任務 [ ]           |
| ○当事者C             | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ] 年、階級[ ]<br>同様の活動 [ ], 任務 [ ]           |
| ○その他(当事者が4人以上の場合) |                                                                  |

11. 事例発生時の経過。

|      | 誰が(何が) | なにをした                 | その他・備考など     |
|------|--------|-----------------------|--------------|
| 経過1  | 当事者A   | 1階段手前で2階にホースを送り出していた。 | 無線機携帯しておらず。  |
| 経過2  | 当事者A   | 2階でホースが折れていたのは確認。     | 呼びかけに応答せず。   |
| 経過3  | 当事者A   | 2階へ上がりホース整理を行う。       | 自己判断での活動。    |
| 経過4  | 当事者A   | ホース整理中に床が抜ける。         | 片足落下しそうになった。 |
| 経過5  |        |                       |              |
| 経過6  |        |                       |              |
| 経過7  |        |                       |              |
| 経過8  |        |                       |              |
| 経過9  |        |                       |              |
| 経過10 |        |                       |              |
| 経過11 |        |                       |              |
| 経過12 |        |                       |              |

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

指揮者が適切に指示した。 たまたま、事故にならなかった。 その他 : 床抜けの幅が片足分ほどであったため。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。         | はい  |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。              | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | はい  |
| ・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい  |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | はい  |

d. 心身の不調があった。

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                     |     |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。   | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。  | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | はい  |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | いいえ |
| ・暑かった（寒かった）。     | いいえ |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。   | はい  |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）           | はい  |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |     |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | はい  |
| ・隊員が不足していた。    | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

|  |
|--|
|  |
|--|

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

## 2階平面図

